



やしろ

令和2年5月1日
幸手市立八代小学校
幸手市平須賀1-14
0480-48-0960



がんばれ！八代っ子！



八代小学校長 安田 修一

新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、5月末まで臨時休業が続きます。本来ならば、新年度がスタートして1カ月が過ぎ、新しい学年にも慣れて、学級の組織がスムーズに動いている時期です。「さあ、これからたくさんの体験学習や新しい学びが本格的に始まるぞ！」という時期ですが、残念ながら今年は例年通りには進みません。今後の行事や予定も大きく変更になると思われます。でも、大切なのは命であり、健康です。健康な体があってこそその学校生活です。その健康が脅かされている今、多くのことを我慢し、それに代わる工夫をしなければならないのだと考えます。

これまでの臨時休業中に子供たちや保護者の方々から、「早く学校が始まってほしい。」「友達と会いたい。」といった声がたくさん学校に届いています。家にいる時間が長く、不便な生活が続いていることと思います。そのような中で多くの子供たちが我慢して、自らを律して生活しているのではないかと思います。ここまでよく頑張りました。終わりがはっきりと見えない中ですが、八代の子たちなら乗り切れる！頑張れ！八代っ子！

保護者の皆様には、臨時休業が続いてご家庭への負担が大きくなっている中、様々な対応にご協力とご理解をいただきまして、心から感謝申し上げます。特に、急な予定の変更や追加などがありました。速やかに対応いただきまして、本当にありがとうございます。先の見通しが立てにくい状況ですが、引き続きお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

現在、学校では、臨時休業中の対応と臨時休業終了後の対応を検討しながら準備を進めています。例えば、家庭学習の課題は、学校再開後に授業がスムーズに進められるようにした内容を増やすなど、教職員で工夫しながら作成しています。また、学校再開の際の生活のルールや授業、消毒の方法などを具体的にどのように実施していくかなど、情報を集めながら準備をしています。今後も、様々な連絡やお願いについて保護者メールやホームページ等でお知らせしますので、引き続きよろしくお願いたします。

地域の皆様には、このような事態の中でも励ましや応援の言葉、後援会や学校再開後の体験学習などについてまで、ご配慮をいただいています。ありがとうございます。今後もよろしくお願いたします。

「SDGs」の視点を取り入れた取組について

「SDGs」という言葉を目にしたことがあるでしょうか。読み方は「エス・ディー・ジーズ」です。「Sustainable Development Goals」の略で、日本語にすると「持続可能な開発目標」という意味になります。

SDGsは2015年に開催された国連サミットで採択された、いわば「世界共通の課題」といえるものです。人々が将来にわたり恵み豊かな生活ができるよう、一人一人が自己認識をもって課題解決に挑むために設定されました。全部で17の目標が設定されていて、達成時期は2030年とされています。詳しくは、外務省が作成した「「持続可能な開発目標（SDGs）」について」に記載されていますのでご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この「SDGs」は、「地球上の誰一人として取り残さない」ことをうたっていて、小学生にとっても無関係ではありません。これからの時代を生きる子供たちにとって、必要な視点であるといえます。そこで、今年度の八代小学校の教育活動をSDGsの目標と関連付けて取り組むことで、それぞれの活動や実践がどの目標と関連があり、どのような学びに発展していくのかを意識して行うようにしようと考えています。

目標の中には、子供たちが直接働きかけて行くことが難しいものもありますが、「教育」「ジェンダー」「水・衛生」「気候変動」「海洋資源」「陸上資源」「平和」などについては、子供たちの日常生活の中から行える取組が考えられます。既に実施している取組の中にも、SDGsの目標と関連したものはたくさんあります。新たな取組も含め、子供たちの日常生活の中に、持続可能な社会をつくっていかようとする意識や感覚が根づいていくように取り組んでいきたいと考えています。